

# 朋優学院

## 「挑戦」



**主砲**

**原田一優**  
(3年=遊撃手)

長打でチームを活性付ける頼れる主砲。1年夏から試合に出場し、多くの経験を積んできた。「夏は、みんなの力を合わせて勝ち切りたい」

**エース**

**森崎雄貴**  
(3年=投手)

最速133キロのスローボールは球速以上の威力。カーブ、スライダーのコンビネーションで打者を打ち取っていく。打者としてもクリーンアップに座る

**Pick Up!**

**中島感副将**  
(3年=中堅手)

攻守に堅実なプレーでチームに貢献していくキーマン。2番打者として役割を果たしながら個性を発揮「自分たちの力のすべてを公式戦で出し切りたい」

**がんばりマネージャー**

岩瀬優菜(3年) 森島徳(2年) 西尾ありす(3年)



### 部員全員が主役の「自分たちの野球部」

優れた進学実績を誇る朋優学院は、2021年4月から新たな体制で野球部の価値を上げている。朋優学院は自分たちのスタイルで高校野球に向き合い、成長していく。

■失敗を恐れずにチャレンジ  
選手たちのワクワク感がダイレクトに伝わってくるチームだ。朋優学院は2001年の共学化に伴い、野球部が誕生した。創部23年のチームだがベスト8・1回、ベスト16・3回という確かな実績を残している。近年は、学校の進学実績が著しく高まり、学校全体の活力が野球部にも好影響を与える。チームは2021年春から、湯原貴博監督が指揮を執る。明学東村山でエースとして活躍して国学院大へ。大学卒業後に一般企業

に就職しながら、縁あって朋優学院を外部から指導。26歳で教員となり、コーチを経て、一昨年春に監督となった。チームスローガンは「挑戦」。指揮官は「失敗を恐れることなく、チャレンジしてほしい」と情熱を注ぐ。  
■応援されるチーム、選手になる  
2021年春時点での選手はわずか7人。朋優学院は校内のテニスコートほどの大きさのグラウンドと“隙間スペース”を利用しての練習。「球場がなくても野球はできますが、選手がいなければ野球はできない」(湯原監督)。ゼロからの再出発となったが、新たな野球部には多くの選手たちが集まり、いまや3学年で約40人の大所帯となった。練習は決して甘いものではないが、2021年春以降の選手は誰も辞めていないという。

中島感副将(3年=外野手)は「朋優学院は自分たちで主体的に行動していくチーム。レギュラー、控えに関係なく、全員が成長していくことができる」と練習に打ち込む。部員たちの役割は、学校内に一人でも多くの野球部ファンを作ること。応援されるチーム、選手になることがチーム強化の第一歩だ。  
■SNSやYouTubeを活用して情報発信  
地力は、確実に付いている。山田龍永主将(3年=二塁手)が旗手役となるチームは、主砲・原田一優(3年=内野手)、投打のキーマン森崎雄貴(3年)らが主軸となり、どんな相手でも真っ向勝負していく。昨秋は一次予選決勝で日野に2対3の惜敗、今春の予選は錦城に1対2で敗れた。本大会出場を実現することはできなかったが、実力校相手に一歩も引かない戦いを

みせたことはチームにとっての大きな収穫。山田主将は「惜しい試合ではなく勝つ試合をみせたい。甘い部分を突き詰めていって、野球部史上最高の結果を出したい」と気持ちを込める。朋優学院は2021年からSNSやYouTubeを活用して積極的な情報発信を続けている。今夏、選手の躍動とチームの躍進を告げるツイートや動画が発信されるかもしれない。

**朋優学院高校**  
【住所】東京都品川区西大井6-1-23  
【創立】1946年 【甲子園歴】なし  
女子校・中延学園として運営されてきたが2001年に共学化。同時に野球部が誕生した。進学校としても実績を残し、国立大・難関私学に多くの合格者を輩出している。野球部は2011年夏ベスト8、2014・2016年夏、2017年春ベスト16。

**主将のチーム分析**

**山田龍永 主将**  
(3年=二塁手)

**どんな環境でも成長できる**

「自分たちで考えながら練習することで、野球をより楽しむことができている。校内に広いグラウンドはありませんが、どんな環境でも成長できると感じています。失敗を恐れずにチャレンジしていくことで過去最高のベスト8を超えていきたいです」

**朋優学院・湯原貴博監督**

**選手たちに対する感謝が一番**

「高校野球の舞台として朋優学院を選んでくれた選手たちに対する感謝が一番です。努力を続ける選手たちに、チャレンジすることの大切を伝え、チームみんなで感動を共有していきたいと考えています。選手たちがワクワクするような戦いを目指していきたいです」

1978年東京都出身。明学東村山一國学院大。大学卒業後に一般企業に就職。外部コーチとして朋優学院を指導し、26歳で教員となり正採用。コーチ部長を経て2021年4月から監督。現役時代は投手。